

交通事故ゼロへ 交通安全の集い2016

交通安全の集い2016は2日、さくらホールで行われました。同イベントは、市民一人一人の交通事故防止への意識を向上させようと毎年開催されています。

式典では、交通安全功労者や北上市交通安全ポスターコンクールの入選者を表彰したほか、佐々木秋羽さん(江釣子小4年)による岩手県交通安全憲章の朗読などが行われました。その後、岩手県警察音楽隊が交通安全啓発公演を実施。演奏を行うとともに、自動車を運転する際の注意点などを伝えました。

フリップを使い分かりやすく注意点を伝える県警察音楽隊



侵入防止柵を設置している大峽清志さん(和賀町後藤)の説明を聞く参加者

クマの被害を防ぐには ツキノワグマの生態と被害対策を学ぶ講演会

ツキノワグマの生態と被害対策を学ぶ講演会は11月23日、江釣子地区交流センターで行われました。

同講演会は、クマの出没増加を受け、北上市鳥獣被害対策連絡協議会が開催。岩手大学の青井俊樹名誉教授がクマの生態を解説し、行政と地区住民が協力して取り組みを行っている被害防止の事例を紹介しました。その後、参加者はクマの侵入防止柵を設置した現場を見学。今年実際にクマの被害に遭った生産者から話を聞き、対策の実情について理解を深めました。

国籍を超えて共に 2016年度多文化共生講演会

2016年度多文化共生講演会は11月26日、生涯学習センターで行われました。同講演会は、外国人と日本人がお互いに快適に暮らすことができるまちを目指し、多文化共生について理解を深めようと開催されました。

今回は「次世代のため地域づくりにつなぐ多文化共生」と題し、群馬大学の結城恵教授が講演。多くの外国人と触れ合ってきた経験を基に「日本文化への適応を支援するだけでなく、外国の文化を受け入れる姿勢も必要」と、地域づくりの課題を説きました。

講演する結城教授。外国人が感じていることや必要としていることを伝えました



演技を披露する日本女子体育大学新体操部のメンバー

華麗な演技を披露

KITAKAMIアーティスティックスポーツフェスタ

KITAKAMIアーティスティックスポーツフェスタ2016は4日、北上総合体育館で行われました。

同イベントでは、市内外の団体が参加し、新体操やチアリーディングなどの演技を披露。希望郷いわて国体新体操競技に出場した盛岡第三高校のほか、全国大会で優勝経験のある日本女子体育大学、青森山田高校の新体操部も参加し、各団体の華麗な演技が来場者を魅了しました。渡辺結奈さん(和賀東小2年)は「友達の演技を見られて楽しかった」と話していました。

開園100周年に向けて 展勝地フォーラム

展勝地フォーラムは11日、日本現代詩歌文学館で開催されました。2021年に開園100周年を迎える展勝地。同フォーラムは、展勝地の魅力を再発見する機会として26年度から隔年で行われています。

今回は「展勝地における観光の在り方」をテーマとし、みちのく民俗村や博物館などの現状や課題について関係者が報告。その後、のぞみ 県出身のノンフィクションライター千葉望さんが、旧暦を生かした日常生活やイベントの楽しみ方について講演を行いました。

「旧暦を生かして暮らしを楽しむ」と題し講演する千葉さん



講演する藤里貫主。世界遺産に認定された毛越寺について語りました

世界遺産に学ぶ

稲瀬町歴史遺産ガイドボランティア研修講座

稲瀬町歴史遺産ガイドボランティア研修講座は7日、如意輪寺で行われました。同講座は、稲瀬地区の歴史遺産を地区内外に発信できる人材を育成しようと、25年度から開催されています。

今回は、毛越寺の藤里明久貫主が「世界遺産毛越寺を語る」と題し講演しました。藤里貫主は、毛越寺が世界遺産に登録されるまでの道のりや、浄土思想について解説。「文化財は地域住民の理解のうえで守り、次の世代へ引き継いでいくことが必要」と話しました。

冬本番へ安全を祈願 夏油高原スキー場安全祈願祭

夏油高原スキー場安全祈願祭は11月25日、同スキー場で行われました。式では、神事や鬼剣舞奉納が行われ、関係者がオープンに向けて安全を祈願。その後、同スキー場を運営する(株)北日本リゾートの菅原三多英代表取締役があいさつし「今年はツリーランエリアなどを拡大する予定。日本一だといえるものを増やしたい」とシーズン本番へ意気込みを語りました。

祈願祭を終え、12月8日にオープンした同スキー場は、29年5月7日まで営業する予定です。

今シーズンのオープンに向け安全を祈願する神事



東日本大震災関連の書籍や記録写真真集などが数多く展示されました

震災を忘れない

岩手県立図書館巡回展示

岩手県立図書館巡回展示「5年目の3.11」は9日から11日の3日間、中央図書館で開催されました。

県立図書館は、東日本大震災から5年となった今年2月から4月に企画展を開催。同企画展で展示した資料を県内各地の図書館に巡回展示として貸し出しています。中央図書館では、貸し出された東日本大震災関連の資料のほか、発災当時の市内の写真などを展示。期間中に訪れた人たちは、思い思いに展示物を眺めていました。